

# 活動実績報告書

2015 年度(平成 27 年度)



公益財団法人 河野臨床医学研究所

品川リハビリテーション病院・第三北品川病院

リハビリテーション科

---

|               |     |     |
|---------------|-----|-----|
| リハビリテーション科統括  | ・・・ | p.3 |
| 品川リハビリテーション病院 |     |     |
| 代表            | ・・・ | p.4 |
| 回復期リハビリ病棟部門   | ・・・ | p.5 |
| 医療型療養病棟部門     | ・・・ | p.6 |
| 訪問リハビリテーション部門 | ・・・ | p.7 |
| 第三北品川病院 代表    | ・・・ | p.8 |

**資料**

|                               |     |         |
|-------------------------------|-----|---------|
| ・ 診療実績                        | ・・・ | p.9     |
| ・ 学術活動                        | ・・・ | p.10    |
| ・ 業者勉強会                       | ・・・ | p.10    |
| ・ 病棟合同勉強会                     | ・・・ | p.10    |
| ・ 科内定例勉強会                     | ・・・ | p.11-12 |
| ・ 臨床実習受け入れ状況                  | ・・・ | p.12    |
| ・ 品の輪 (品川区リハビリテーションネットワーク勉強会) | ・・・ | p.12    |
| ・ 出張 (学会・研修会等)                | ・・・ | p.13-14 |

---

# リハビリテーション科 統括

係長 小林 豊

## 事業計画

北品川病院の品川リハビリテーション病院への名称変更や 2018 年稼働の新施設準備の進行など、リハビリ医療に一層の力を注いでいく法人/病院の決意が示されました。規模の拡大は必至ですので、ソフト面では職員育成と診療関連の充実、ハード面ではリハビリ支援システム（電子カルテ）導入が先立って達成すべき課題でした。

## 回顧・展望

急性期の第三北品川病院から品川リハビリテーション病院への医療連携が強化されたこと、両院に共通して患者層が変化したことなどから、職員には一層のスピード性と状況判断力、実行力が問われました。問題提議と試行錯誤、環境変容などを部署毎に行っており、それぞれの努力を感じました。また、品川リハビリテーション病院では病態栄養食品会社の協力の下、一部の患者様にアミノ酸含有飲料を無償提供し、体組成計も導入して栄養と身体構成への着目を高めました。第三北品川病院では稼働日を週 6 日間とし、専門職と共にリハビリに取り組める機会を増やしました。

継続学習としては、業者を招いた講習会や持ち回り研修を行ない、病棟職員も多数参加しています。2011 年に立ち上げた品川

区リハビリ関連職種の合同勉強会は連合会として様々な活動に着手することになりました。院内外に広い情報網と経験値を高める場が拡大してきました。

リハビリ支援システムについては、機能の異なる 2 病院に適応する運用の実現が最大の課題でした。試行錯誤と修正を重ね、診療報酬の改定に合わせて 2016 年度初日より運用開始に至りました。システムの有効活用には今後も継続した学習が必要ですが、通常業務に加えて率先して普及に奔走した委員や職員には特に感謝をしています。

なお、当科では 2013 年から半期の活動報告と次期の展望を発表する場を設けています。各部門責任者が発表をしていますが、病院/科/部門の方針や各々が担う役割の認識が惜しくも科員の末尾まで行き届いていないといえませんが、毎年増員していますので、個々が生き、様々な分野へ能動的に参画できる風土を形成していくことが大切と考えています。次年は法人・病院理念に次ぐ科の理念・行動目標（下記）をもって邁進していきます。

### 理念

安心して頂くことをモットーに、  
心身の健康とくらしを支援します

### 部門努力

支援が適時性、的確さを以て、かつ発展的に行われる  
ために、診療・教育・学術の向上に邁進します



---

品川リハビリテーション病院（医療保険）

# リハビリテーション科

係長 梅津 可奈子

---

## 目標

---

平成 27 年度は、①新人教育を含めた全ての業務を回復期・療養部門が独立して運営すること、②各部門でリーダー人材を育成すること、③電子カルテの導入を目標に取り組んで参りました。また、反復経頭蓋刺激療法（rTMS）、ボツリヌス療法、VE・VF 検査も継続して実施致しました。

## 取り組み

---

### □ 回復期・療養部門

今年度からすべての業務は病棟ごとに運営することになりました。それにあたって病棟リーダーをサポートするスタッフを配置し、ミーティング、病棟ラウンド、新人指導などを実施しました。

回復期では病棟リハビリ・週 6 リハビリ実施の充実、療養部門では週 6 リハビリの導入、昼食時の車椅子乗車の充実を図りました。

### □ 電子カルテ化準備

下半期は、平成 28 年度からのリハビリテーション支援システム（電子カルテ）導入に向けて、書類の整理・新規作成、使用方法の伝達などに取り組みました。

### □ 病棟スタッフとの連携

朝の病棟の申し送りにリハビリスタッフも参加し、情報を共有することで連携の強化を図りました。

### □ ボツリヌス療法（外来）

引き続き実施しており、作業療法部門からは河医研医学会総会にて発表しました。

## 実績

---

### □ 嚥下内視鏡検査(VE)・嚥下造影検査(VF)

VE・VF を有効に活用し、嚥下の評価・治療効果の判定を行いました。

【VE】26 件（前年 15 件）

【VF】4 件（前年 4 件）

## 反省・展望

---

本年より新人指導を含む全ての業務を各部門で実施することになり、各部署のリーダーを中心に取り組みました。部署ごとに指導内容の差が生まれる、新入職の職員同士の交流が減るなどの改善すべき点があり、次年度に向けての課題もみえてきました。

電子カルテ化への移行は順調に行えており、次年度は業務の効率化を図り、新人教育の強化や病棟ごとの運営の安定させることを目標に取り組んでいきます。

## 品川リハビリテーション病院

# 回復期リハビリ病棟部門

國分 裕子

### 取り組み・目標

- 看護師が病棟で行うリハビリメニューの提案、経管栄養者の車椅子乗車の評価と提案、患者様の状態に合わせたリハビリの提供から、患者様の活動時間とリハビリ機会を増やしました。
- 新人教育ではチーム制を取り入れ、初回カンファ前に患者様の情報を共有し、方向性やリハビリ内容に対して複数のスタッフの意見を取り入れるようにしました。
- 昼の食事評価を月 2 回実施しました。前年度は問題点へのフィードバックが不明確でしたが、評価・検討後の内容を実際に行える仕組みを作りました。
- 作業療法士を中心に就労支援の学会、勉強会に参加しました。

### 実績

リハビリ実施者は 174 人で脳血管疾患のオーダーが多くありました (図 1)。平均年齢は 76.4 歳、平均在院日数は 82 日、在宅復帰率は 7 割でした (図 2)。なお退院前訪問指導を行った件数は 31 件でした。

研究活動では、回復期入院患者の経年動向や週 6 リハビリ効果の検証や、就労支援の意識調査を行いました。また、FIM の院内講習会を開催しました。

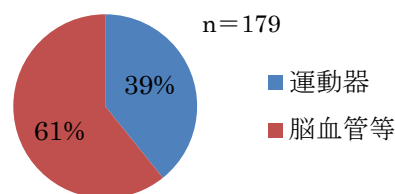


図 1.リハビリ実施者の疾患別分類

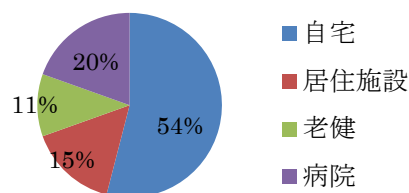


図 2.退棟患者の退院先

### 反省・展望

次年度はリハビリスタッフが増員されます。日曜日は休診ですが、週 6 リハビリの充実と患者様の自主トレーニングの提案に取り組み、入院生活の質を高めていきます。また、FIM の講習会や回復期リハビリテーション病棟協会の研修に参加し、回復期のスタッフとして質の向上に努めます。

患者様は担当制ではありますが、方針の決定・修正などをディスカッションする機会をチーム内に設けていきます。また、次年度は 4 名の新入職者を迎えます。専従スタッフでのチームで教育・指導を行っていきます。

## 品川リハビリテーション病院

# 医療型療養病棟部門

外間 巧

### 目標

「患者様により良い入院生活を提供すること」を目標に病態・症状を適切に評価し、在宅復帰の想定や重症者様など目的に合わせた生活の質の改善に努めました。

### 取り組み

#### ■リハビリ頻度の増加

昨年度に出勤形態を定休制からシフト制に変更したことで、リハビリ頻度を増やせる体制になりました。積極的な運動療法の適応例や頻回なアセスメントの必要例など、患者様に合わせた対応を行っています。

#### ■日中の車椅子乗車推進運動

離床時間の延長について、目的の無い座位時間の提供は患者様のストレスや疲労に繋がり兼ねません。病棟でのレクリエーションやリハビリで提供する机上課題、食事場面などをはじめとする明確な目的に基づいた離床機会を提供しました。重症者様においても、実施前後の身体機能を評価しながら車いす上で経管栄養を行うなど体調に合わせた離床を実践しています。

#### ■食事場面の評価

姿勢・嚥下機能の評価に加え、誤嚥や食形態の適応検討、嗜好の聴取等を行う機会を隔週の昼食時に設けています。必要に応

じて VE（嚥下内視鏡検査）・VF（嚥下造影検査）を実施し、経管栄養から経口摂取への移行を推進しています。

### 反省・展望

生活の質の改善に積極的な運動療法が適応とされた患者様からは、アンケートを通じて好意的な意見を頂戴できました。Barthel Index 等の客観的評価においても一定の改善を認めましたが、重症者様では主観的評価になりやすいうえ、設備面の不足から離床推進に制限が生じた点を反省として考えています。

今後も ADL 練習を積極的に実施して活動制限を最小限に留め、より良い入院生活の提供に努めます。また、スタッフのポジショニングやシーティングに対する知識の充実とモジュール型・リクライニング型車いすやシーティングクッションの導入によるより良い離床方法の確立も併せて尽力していきます。

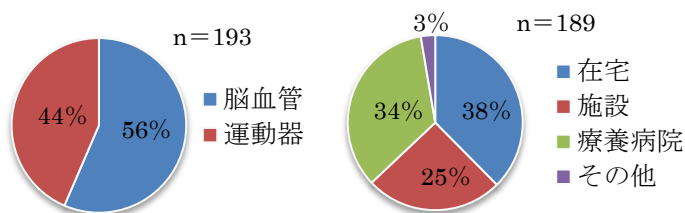


図.リハビリ実施者の疾患別分類(左図)と退院先(右図)

品川リハビリテーション病院（介護保険）

# 訪問リハビリテーション部門

係長 宮入 裕樹

## 目標・取り組み

- ① 個ではなくチームとしての訪問リハビリテーションの強化
- ② 地域活動への参加

## 振り返り

スタッフの入れ替えがあり、訪問リハビリ未経験のスタッフが増えてきました。個々でなくチームとして訪問リハビリテーションを進めていけるよう、ミーティングやカンファレンスの徹底とともに、経験あるスタッフの同行訪問を頻回にするなど、未経験スタッフの指導に力をいれていきました。また、マネジメントリーダーを配置することで、スタッフや利用者のマネジメントを円滑に行えるよう取り組んできました。

1 月には東京都の地域リハビリテーション専門人材育成研修に品川区代表として参加し、多職種間の連携を深めるとともに、地域包括ケアシステムに向けた研修を修了しました。3 月には介護事業者団体である品川区ケア協議会主催の品川ケアフェスタに参加し、地域との連携を強化しました。訪問リハビリについて地域の方に知ってもらう良い機会であったと感じています。

## 展望

当部門ではサービス向上の観点から、その個別性の礎ともなる、「スタンダード」の確立を第一に目指していきたいと考えています。接遇・知識・技術面の情報交換や教育を通して、サービスの質の平均化を図り、どのスタッフも同等の質を担保したサービスを提供できるように努めたいと考えています。

昨今、「地域包括ケアシステム」という言葉を聞かない日はありません。システムの構築を行う中で、最も課題となっているのが、連携—地域間コミュニケーションです。医療と地域をつなぐ介護分野を主とする当部門としては、新病院設立に向け、今後も継続した地域活動への参加を通して、地域づくりに尽力していきたいと考えています。

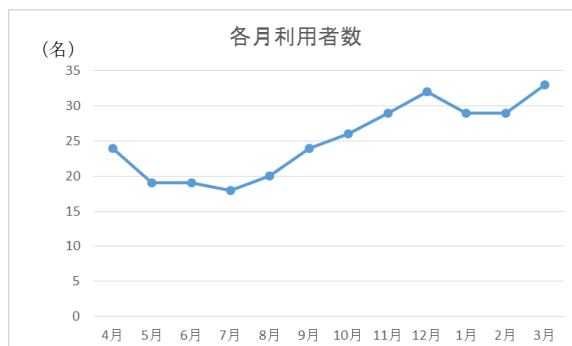


図. 訪問リハビリテーションの利用者数



## 第三北品川病院

# リハビリテーション科

宮田 裕希

### 主な取り組み

患者様の更なる機能向上と ADL 能力向上を期待して、リハビリ提供日数を週 5 日から週 6 日に変更しました。試験的導入のため、対象者は当科において最も介入機会が多く、かつ効果が期待できる大腿骨近位部骨折術後患者様に限定しました。

半年後の検証では、週 6 日間に増やしたことの効果が身体機能面や ADL 能力面で有意に認められず、在院日数においても同様の結果でした。症例数が少ないことや個別特性等の影響も拭いきれませんが、期待とならず残念に感じます。しかし、患者様方からは、「たくさんリハビリができてよかった」「身体を動かしていると元気が出てくるから嬉しい」等の声を多数頂くことができたため、試行錯誤しながら今後も引き続き実施・改善をしていきたいと思えます。

### 反省・展望

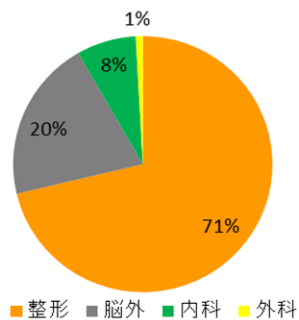
今年度のリハビリ対象患者様は、計 686 名、平均在院日数は 27.2 日でした。昨年度から継続して掲げている「他部署との連携強化を図り、患者様の早期回復・早期退院に貢献する」といった目標に関しては、スタッフ各々が高い意識を持って取り組むことができたように感じます。しかし、上述

の提供日数増加に伴うリハビリ効果が明確に示されなかった点に関しては、実施方法の再考が必要であると感じています。そのためにも、具体的に対象者枠の増大や介入方法の検討等をスタッフ間で話し合い、共有し、より質の高いリハビリを提供できるよう精進していき、その結果として患者様の身体機能・ADL 能力の向上に寄与できればと考えております。

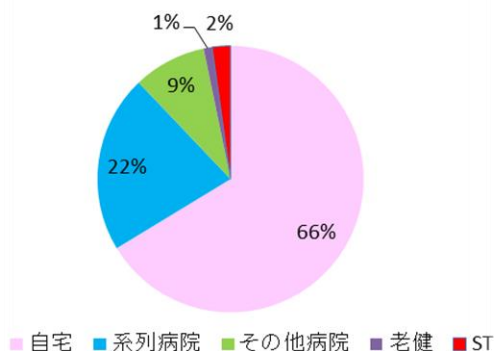
### 平成 27 年度活動実績

対象患者総数・・・686 名

リハビリ対象患者診療科内訳



リハビリ対象患者転帰先内訳

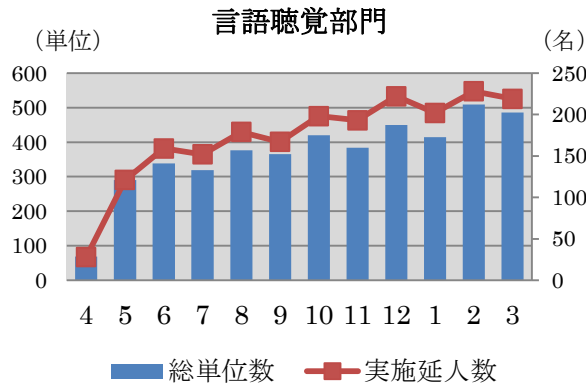
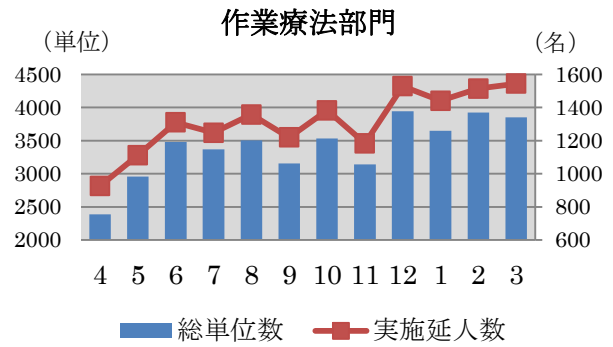
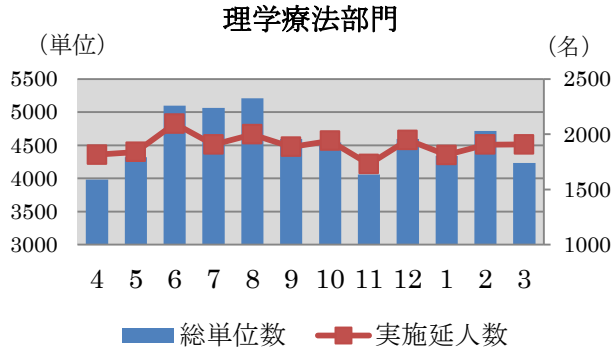




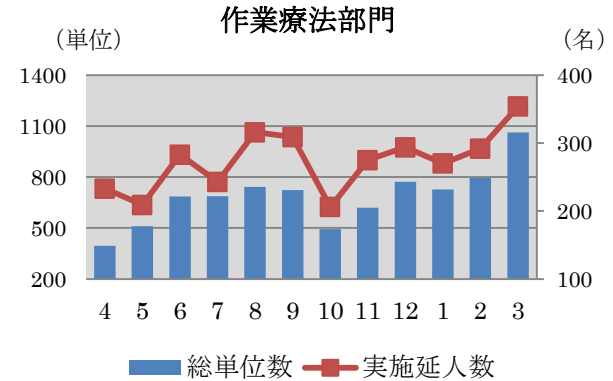
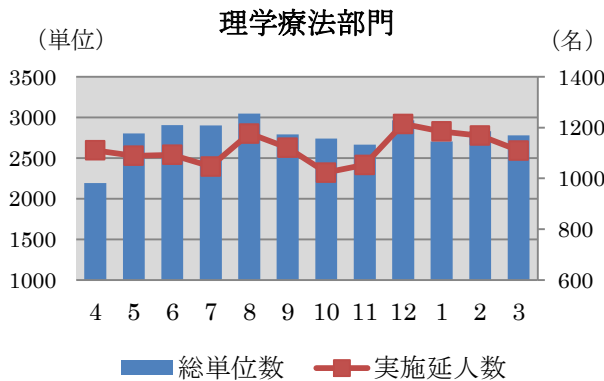
資料

■ 診療実績 (入院部門：医療保険)

□ 品川リハビリテーション病院



□ 第三北品川病院



## ■学術活動

| 演題名 |   | 様式   | 学会名               |
|-----|---|------|-------------------|
| 発表  | 回復期患者の4年間におけるADL能力の把握・展望  | ポスター | 第55回河医研医学会総会      |
|     | 上肢痙縮の強い症例への長期的なボツリヌス療法の効果   | ポスター | 第55回河医研医学会総会      |
|     | 就労支援についてのリハビリ職員への意識調査   | ポスター | 第55回河医研医学会総会      |
|     | 新入職員を対象としたフォローアップ研修の検証  | ポスター | 第55回河医研医学会総会      |
|     | 医療型療養病棟でリハビリテーションニーズに応える<br>～施設の年間実績の検証から見た役割と課題～                                 | 口述   | 第3回慢性期リハビリテーション学会 |
|     | 発症から入院までの期間と回復期患者のADL改善の関連  | 口述   | 第11回 東京都病院学会      |
| 原著  | 堀井志満子, 小坂あゆみ他: 上肢痙縮の強い症例への長期的なボツリヌス療法の効果. 河医研研究年報第64号. 公益財団法人河野臨牀委医学研究所, pp.2016. |      |                   |

## ■業者勉強会

| 日程    | 内容              | 講師               |
|-------|-----------------|------------------|
| 5/18  | ゲイトソリューション      | パシフィックサプライ株式会社   |
| 6/26  | リハビリテーションと栄養    | 味の素ニュートリション株式会社  |
| 7/13  | 熱中症とその対策        | 味の素ニュートリション株式会社  |
| 8/21  | 嚥下のしくみと嚥下食      | 株式会社クリニコ         |
| 10/19 | 片麻痺に対するボツリヌス治療  | グラクソ・スミスクライン株式会社 |
| 12/8  | 医療における接遇とクレーム対応 | 第一三共株式会社         |
| 1/19  | 家屋評価と福祉用具       | 山下コーポレーション       |

## ■病棟合同勉強会

| 日程   | 講習会名            | 対象  | 講師        |
|------|-----------------|---|-----------|
| 4/25 | シーティングと摂食・嚥下支援  | 第三北品川病院 看護師・介護士                           | OT山岸      |
| 5/25 | 体位ドレナージ・スクイーピング | 第三北品川病院 看護師(新卒)                           | PT小林、NS秀島 |
| 6/16 | 体位ドレナージ・スクイーピング | 第三北品川病院 看護師(経験者)                          | PT小林、NS秀島 |
| 10/3 | 廃用症候群について       | 品川リハビリテーション病院 介護士                         | PT外間      |
| 1/18 | FIM勉強会①         | 品川リハビリテーション病院 医療従事者<br>第三北品川病院 リハビリテーション科 | PT國分、OT渡部 |
| 1/29 | FIM勉強会②         | 品川リハビリテーション病院 医療従事者<br>第三北品川病院 リハビリテーション科 | PT國分、OT渡部 |
| 2/8  | FIM勉強会③         | 品川リハビリテーション病院 医療従事者<br>第三北品川病院 リハビリテーション科 | PT國分、OT渡部 |
| 2/15 | FIM勉強会④         | 品川リハビリテーション病院 医療従事者<br>第三北品川病院 リハビリテーション科 | PT國分、OT渡部 |

## ■科内定例勉強会

| 日程    | 内容・題名   |
|-------|---|
| 4/1   | 新入職員指導・教育について③  |
| 4/8   | 画像診断について(2チーム合同発表会・まとめ)①  |
| 4/15  | 画像診断について(2チーム合同発表会・まとめ)②  |
| 5/13  | 合同勉強会「自宅退院前訪問指導」①介護保険   |
| 5/20  | 合同勉強会「自宅退院前訪問指導」②介護サービスの内容  |
| 5/27  | 合同勉強会「自宅退院前訪問指導」③住環境調整  |
| 6/3   | 合同勉強会「自宅退院前訪問指導」④住宅改修   |
| 6/10  | 合同勉強会「自宅退院前訪問指導」⑤福祉用具   |
| 6/17  | 合同勉強会「自宅退院前訪問指導」まとめ   |
| 6/24  | 合同勉強会「自宅退院前訪問指導」2チーム合同発表①   |
| 7/1   | 合同勉強会「自宅退院前訪問指導」2チーム合同発表②   |
| 7/8   | フィジカルアセスメント勉強会①   |
| 7/15  | フィジカルアセスメント勉強会②   |
| 7/22  | 感染症について ～リハビリ科としての対策～   |
| 7/29  | 新人ケーススタディ①  |
| 8/5   | 新人ケーススタディ②  |
| 8/12  | 合同勉強会「内部障害」①合併症としての虚血性心疾患【1】  |
| 8/19  | 合同勉強会「内部障害」②合併症としての虚血性心疾患【2】  |
| 8/26  | 合同勉強会「内部障害」③糖尿病【1】  |
| 9/2   | 合同勉強会「内部障害」④糖尿病【2】  |
| 9/9   | 合同勉強会「内部障害」⑤腎不全【1】  |
| 9/16  | 合同勉強会「内部障害」⑥腎不全【2】  |
| 9/30  | 合同勉強会「内部障害」⑦呼吸器疾患(COPD)【1】  |
| 10/7  | 合同勉強会「内部障害」⑧呼吸器疾患(COPD)【2】  |
| 10/14 | 合同勉強会「内部障害」まとめ  |
| 10/21 | 合同勉強会「内部障害」2チーム合同発表①  |
| 10/28 | 合同勉強会「内部障害」2チーム合同発表②  |
| 11/4  | 上半期報告会  |
| 11/11 | 第1回リスク勉強会 KYT演習①  |
| 11/18 | 第1回リスク勉強会 KYT演習②  |
| 11/25 | 新人ケーススタディ①  |
| 12/2  | 新人ケーススタディ②  |
| 12/9  | 訪問リハビリ勉強会   |
| 12/16 | ピラティスについて<br>重症患者の離床について～気管切開、肺炎予防を中心に～<br>低栄養の基礎知識について<br>インシデント・アクシデントのまとめとpmshellについて                  |
| 1/6   | 能動的リハビリテーションの実践と脳内システム<br>ミラーニューロンシステムとシミュレーション<br>くも膜下出血によりウェルニッケ失語を呈した症例<br>職業リハビリテーションについて<br>姿勢制御について |
| 1/20  | 摂食・嚥下について ～伝達講習～<br>水頭症について<br>認知行動療法について<br>注意障害とアプローチ   |
| 1/27  | 疼痛について<br>人間作業モデルについて<br>複数脊椎病変により著明な機能低下をきたした症例<br>USNを呈した症例と高次脳機能障害                                     |
| 2/3   | 褥瘡について<br>腰痛に対するアプローチ<br>身体的特徴から考える運動連鎖について<br>認知行動療法について   |
| 2/10  | コアセラピーについて<br>大腿骨転子部骨折に対する介入(家屋調整を含む)<br>注意障害について<br>症例発表   |

| 日程   | 内容・題名                 |
|------|-----------------------|
| 2/17 | 気切切開・カニューレについて        |
|      | WAIS-III              |
|      | 姿勢コントロール              |
|      | 足部の触診と機能解剖            |
| 2/24 | 肩こりについて               |
|      | 甲状腺機能について             |
|      | 古武術について               |
|      | 聴診                    |
| 3/2  | 第2回リスク勉強会 KYT演習①      |
| 3/9  | 第2回リスク勉強会 KYT演習②      |
| 3/16 | 体力と疲労の科学              |
|      | 膝関節について               |
|      | 注意障害について              |
|      | 訪問リハビリ卒業に向けて          |
| 3/23 | リハビリテーション支援システムについて・他 |
| 3/30 | 診療報酬について・他            |

■臨床実習生受け入れ状況

|                 | 学校名      | 形態    | 人数 |
|-----------------|----------|-------|----|
| 理学療法部門          | 文京学院大学   | インターン | 1  |
|                 | 帝京科学大学   | インターン | 1  |
|                 |          | 評価    | 1  |
|                 |          | 臨床見学  | 1  |
|                 | 杏林大学     | インターン | 1  |
|                 |          | 評価    | 1  |
|                 | 東京工科大学   | インターン | 2  |
| 検査測定            |          | 4     |    |
| 東京メディカルスポーツ専門学校 | インターン    | 1     |    |
| 作業療法部門          | 東京工科大学   | インターン | 1  |
|                 | 帝京平成大学   | インターン | 1  |
|                 | 東京福祉専門学校 | 評価    | 1  |
|                 |          | 評価    | 1  |
|                 |          | 見学    | 4  |

■品の輪 (品川区リハビリテーションネットワーク；多施設間勉強会、事務局品川リハビリテーション病院内)

| 日程    | 参加施設数 | 内容  |
|-------|-------|---|
| 8/28  | 12施設  | 【講演】歩けない高齢者の栄養評価と運動療法<br>東京工科大学 医療保健学部 理学療法学科 吉松 竜貴氏  |
| 12/18 | 11施設  | 【講演】高齢者心不全患者に対する運動療法のリスク管理～医療リハビリから介護保険<br>リハビリに移行していく中で各技士が理解しておくべき内容、手段、考え方～<br>東京工科大学 医療保健学部 理学療法学科 高橋 哲也氏 |
| 3/22  | 14施設  | 【講演】医療・介護従事者が理解しておきたい制度のしくみ～地域包括ケアシステムに向けて～<br>品川リハビリテーション病院・第三北品川病院 小林 豊氏<br>ケアセンター南大井 伊藤 滋唯氏                |

## ■出張（学会・研修会等）

|    | 日程      | 内容   |
|----|---------|--|
| 1  | 4/12    | 肩関節の基礎、橈骨遠位端骨折の評価・治療<br>主催：リハビリ看護栄養研究会                     |
| 2  | 4/18    | 第15回摂食嚥下セミナー「口から食べられることへのケア」<br>主催：医学の友社                   |
| 3  | 4/26    | 第10回口腔ケアセミナー「感染対策から一歩先を目指す実習！口腔ケア」<br>主催：医学の友社             |
| 4  | 5/16    | 第9回誤嚥性肺炎の予防とケア「摂食嚥下へのアプローチと呼吸理学療法」<br>主催：医学の友社             |
| 5  | 5/31    | 講義と実習で学ぶ 摂食・嚥下障害<br>主催：関西看護ケア研究会                           |
| 6  | 6/2     | 指定（介護予防）訪問リハビリテーション事業所の集団指導<br>主催：東京都福祉保健局                 |
| 7  | 6/5-6   | 第50回日本理学療法学会<br>主催：日本理学療法士協会                               |
| 8  | 6/17    | 部下が“ワクワク”しながら動き出すコーチングスキル講座<br>主催：日本経営（株）                  |
| 9  | 6/26-27 | 第16回日本言語聴覚学会<br>主催：日本言語聴覚士協会                               |
| 10 | 6/27    | 社会福祉法人富田浜福祉会 訪問  |
| 11 | 7/5     | 歩行障害とエクササイズによる自己改善のための臨床的アプローチ<br>主催：日本スポーツリハビリテーション学会セミナー |
| 12 | 7/15    | 国際モダンホスピタルショー2015<br>主催：ミナト医科学株式会社                         |
| 13 | 7/17    | 第1回地域包括ケアシステム特別オープニングセミナー<br>主催：医療経済研究機構                   |
| 14 | 7/17-19 | 基礎バイオメカニクスセミナー2015（初級）<br>主催：臨床歩行分析研究会                     |
| 15 | 7/19    | テーピングゼミナール<br>主催：3M  |
| 16 | 7/25    | 平成27年度第1回 区中央部・区南部・島しょブロック研修会<br>主催：東京都理学療法士協会             |
| 17 | 7/25-26 | メディカルトレーナー認定セミナー<br>主催：日本スポーツリハビリテーション学会                   |
| 18 | 7/30    | 就労支援課題別セミナー<br>主催：平成27年度東京障害者職業センター多摩支所                    |
| 19 | 8/5     | 理学療法学科・作業療法学科 学内就職説明会<br>主催：文京学院大学                         |
| 20 | 8/7     | 理学療法学科・作業療法学科就職説明会<br>主催：日本リハビリテーション専門学校                   |
| 21 | 8/8     | 第1回東京都総合高次脳機能障害研究会<br>主催：東京都総合高次脳機能障害研究会                   |
| 22 | 8/8     | リハ栄養フォーラム2015 in東京<br>主催：日本リハビリテーション栄養研究会                  |
| 23 | 8/8     | 腰痛のセルフケアとメディカルトレーニング<br>主催：日本スポーツリハビリテーション学会               |
| 24 | 8/19    | 平成27年医療科学部就職説明会<br>主催：帝京科学大学                               |
| 25 | 8/21    | 管理者・リーダーのための「問題解決力」養成講座<br>主催：日本経営                         |
| 26 | 8/21-23 | 基礎バイオメカニクスセミナー2015（中級）<br>主催：臨床歩行分析研究会                     |
| 27 | 8/22-23 | 日本職業リハビリテーション学会 第43回東京大会<br>主催：日本職業リハビリテーション学会             |

|    | 日程       | 内容   |
|----|----------|--|
| 28 | 8/27     | 医療機関合同セミナー<br>主催:東京工科大学  |
| 29 | 8/30     | テーピングゼミナール 応用編<br>主催:3M  |
| 30 | 9/2      | 作業療法士のための脊柱・体幹研修会～機能解剖から認知行動療法まで～<br>主催:保健医療科学研究会                      |
| 31 | 9/5      | ウォークエイド研修会<br>主催:帝人ファーマ(株)   |
| 32 | 9/17     | 就労支援を効果的に進めるための職業評価の進め方<br>主催:東京都障害者職業センター多摩支所                         |
| 33 | 9/30     | 介護サービス事業者支援研修会<br>主催:東京都国民健康保険団体連合会                                    |
| 34 | 10/15-16 | 第25回日本呼吸ケア・リハビリテーション学会学術集会<br>主催:日本呼吸ケア・リハビリテーション学会                    |
| 35 | 11/2     | 平成27年度東京都認知症他職種協働研修<br>主催:東京都保険医療公社荏原病院                                |
| 36 | 11/7     | 平成27年度臨床評価実習 実習指導者会議<br>主催:東京メディカル・スポーツ専門学校                            |
| 37 | 11/7     | 平成27年度臨床実習(評価実習)指導者会議<br>主催:東京福祉専門学校                                   |
| 38 | 11/13    | 就労支援課題別セミナー<br>主催:東京障害者職業センター  |
| 39 | 11/14-15 | 自立支援のためのケアプランニングと訪問通所リハビリテーションの役割<br>主催:日本介護支援専門協会, 全国デイケア協会, 日本訪問リハ協会 |
| 40 | 12/2     | 平成27年度帝京平成大学 臨床実習指導者会議<br>主催:帝京平成大学 健康メディカル学部 作業療法学科                   |
| 41 | 12/4     | 講演会「笑いと感動で医療・介護現場が変わる」<br>主催:医師会立品川区訪問看護ステーション                         |
| 42 | 12/11    | 第39回日本高次脳機能障害学会学術総会<br>主催:日本高次脳機能障害学会                                  |
| 43 | 1/30     | 平成27年度第3回東京都脳卒中地域連携パス合同会議<br>主催:東京都福祉保健局                               |
| 44 | 2/8      | 国立障害者リハビリテーションセンター 自立支援局事業公開<br>主催:国立障害者リハビリテーションセンター                  |
| 45 | 2/11     | ニューロリハビリテーションの概念と基本的戦略-脳卒中後の上肢運動機能を中心に-<br>主催:株式会社GENE                 |
| 46 | 2/13     | 運動学習を基盤とした上肢運動療法セミナー<br>主催:パシフィックサプライ(株)                               |
| 47 | 2/13     | 体幹の運動制御とリハビリテーション<br>主催:スマイルチェーン                                       |
| 48 | 2/13-14  | イントロダクトリーモジュール2講習会<br>主催:日本ボバース講習会                                     |
| 49 | 2/25     | 初めて学ぶ役職者講座<br>主催:日本経営(株)   |
| 50 | 2/26     | 東京マラソン2016 医療スタッフ派遣<br>主催:東京都  |
| 51 | 2/27-28  | 第3回慢性期リハビリテーション学会<br>主催:日本慢性期医療協会・慢性期リハビリテーション協会                       |
| 52 | 2/28     | 第11回 東京都病院学会<br>主催:東京都病院協会   |
| 53 | 3/5      | 平成28年度 臨床実習指導者会議<br>主催:杏林大学  |
| 54 | 3/25     | 平成28年度 診療報酬改定に関わる研修会<br>主催:日本理学療法士協会・日本理学療法士連盟                         |

